

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第4回鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会
日時	令和6年2月14日（水曜日） 10時40分～11時30分
場所	鶴ヶ島第一小学校 校長室
出席委員	熊谷茂会長、内野和江委員、串田功委員、竹島康史委員 西尾佑貴委員、藤瀬紀子委員
欠席委員	三上光江委員、町田尚司委員、 古賀慎哉委員、吉澤充委員（鶴ヶ島第一小学校長）
事務局	豊田拓也教頭
議題	(1) 学校評価の内容及び項目について (2) その他
配布資料	資料1 令和5年度第4回学校運営協議会次第 資料2 令和5年度第5回学校運営協議会開催通知 資料3 令和5年度第77回卒業式開催通知 資料4 令和5年度学校だより（12、1、2月分） 資料5 令和5年度学校評価アンケート結果
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	年内にとりまとめた学校評価の結果について事務局より説明した。説明内容について、委員からご意見をいただき、よりよい学校運営に向けた協議を行った。

【議事概要】

<会長>

協議の前に、本日の授業参観の様子を踏まえた意見及び感想をお願いしたい。

<委員>

学習用端末の使用について、児童が駆使している姿を見て、頼もしく思うと同時にセキュリティの面で配慮することもあると思う。いじめにつながらないように注意しながら先生方には有効に使ってもらいたい。

掲示物はこの時期になると積み重なりがあり、楽しみながら参観させてもらった。

<委員>

トイレのドアの透明ガラスを見て、配慮が必要な児童もいるのでは、と思った。

廊下の窓の落下防止器具の中には壊れかけているものもあり、再確認が必要。

5年生のスピーチの授業がすばらしかった。自分の考えをしっかりと伝えられる人になってもらいたい。

大谷翔平選手からグローブが届いたそうで、どのように使っているのか聞きたい。

<事務局>

クラスごとに回して、休み時間に体育館で担任と子どもたちで使わせていただいている。キャッチボールをして、グローブの感触を確かめている。数の関係もあり、授業で使用するのは少し難しさがあるための、検討中である。

<委員>

1年生の先生の子どもたちへのかかわり方がすばらしかった。

掲示物もめあてや行事のものなど、多種多様でとても良いと思う。

トイレの清掃は行き届いているが、和式の便器がまだ残っているのが気になった。

<委員>

なかよし学級の授業を参観し、その子に寄り添った関わりがすばらしかった。さまざまな面で配慮しながら児童に関わっている先生の姿があり、先生の大変さがよくわかった。

<会長>

続いて、学校評価について事務局より説明をお願いしたい。

<事務局>

紙資料をもとに、教頭が説明

【説明要旨】<学校評価について>

○学級教育目標・教育方針について、保護者の否定的な意見の割合が気になるところではある。学校からは様々な場面で発信しているが、まだご理解していただけていない部分もある。

○ICT活用について、努力が数値に表れている。経験のある教員も若手に助言を求めるなど、有効活用に向けたノウハウが広がってきている。

○体力については、おおむね理解していただいている。

○生徒指導については、教職員と児童・保護者の回答に開きがある。認識の違いが読み取れる。

○特別支援教育では、保護者の否定的な意見の割合が教職員・児童と比べて多くなっている。より一層児童の特性の理解と個に応じた指導を行っていく必要がある。

○地域とともにある学校について、土曜公開日を年5回設定し、ご理解をいただいている。土曜公開日で側溝掃除の取組も行った。

○働き方改革について、留守電の導入や行事の精選等で教職員の意識も変わってきた。

<委員>

教職員・児童・保護者とそれぞれアンケートの文言に違いがある。聞き方が違うものを同じカテゴリーにするのに難しさを感じる。学校評価の結果から具体的にどう改善していったらよいかが見える内容が望まれる。

「学級経営を行っている」という文言は「学級経営について努力している」という文言ではどうか。「学級経営をしっかりとできている」と言いきれてしまうところの方が心配になってしまう。

いじめはなくなってほしい。生徒指導については、教職員と児童・保護者の回答に、肯定的意見と否定的意見の割合に開きがあるのが気になる。児童と家庭の回答がシンクロしているのは家庭内でのコミュニケーションが成り立っている証拠と見ていいのではないか。

地域と学校のことをどうしたいのか、そういうビジョンを学校と委員が共有できるとなおい。

<委員>

働き方改革について、難しいところもある。教員志望、管理職志望の減少が問題となっている。改善をアピールしていく必要もある。SSS や補助員等、予算が必要な部分もあると思うので、国や自治体、学校が一体となって進めていってほしい。

<委員>

働き方改革について、現場の声を広く届ける必要を感じる。

学校だよりで、家庭に伝えている内容も賛同できるものとなっていてよい。

学び合いの研究が進んでいるのはとてもよいこと。授業研究会の話をいろいろなところで耳にする。

運動会等で児童が活躍している姿を見ると成長が見てとれる。

ICT 活用について、学習進度の把握等でもメリットがありそう。先生たちが有効性について研究している。努力が垣間見られる。

地域は何ができるのか、それを考えている。啓発活動をしていくとよいのでは。

<委員>

外遊びしている子が少ない。公園でもほとんど見かけない。体育の授業や休み時間、放課後等で学校の校庭で体を動かすことはとても大事。安全だし、友達もいるし、体力づくりの面で第一の環境になると思う。

地域のネットワークをもっと頼りにしてほしい。学校からこういった面で力を借りたいかはっきりさせた形で働きかけがあると地域の力をより活用できるのではないか。

<事務局>

あとでメモは回収させていただきたい。内容については、こちらでとりまとめさせていただきたい。

来年度も皆様を運営協議会の委員として推薦させていただきたい。

<会長>

本日の日程は以上である。